

■平成 21 年度 第 9 回（臨時）教育研究会議議事録（新旧合同会議）

1. 日 時 平成 21 年 11 月 30 日（月） 9 時 30 分～

2. 場 所 学術交流会館特別会議室

3. 出席者

奥野理事長（議長）

安保理事、寺迫理事、正木理事、菅野理事

楠野委員

辻川研究科長、難波研究科長代行、津戸学部長、萩原学部長、青山学部長、林学部長、
山口機構長

杉村教授、川口教授、（代理）溝口教授、山本教授、山崎教授、高見沢教授、今木教
授、石井機構統括、辻情報システム部長、高橋副センター長

<オブザーバー>

辻田理事

[審議事項]

1 大学改革（案）について

11 月 26 日開催の第 8 回（臨時）教育研究会議において継続審議となった大学改革（案）
（以下「改革（案）」という）について、再度、審議を行った。

まず、理事長から、改革（案）についての説明があり、その中で、大学院については、
必要な期間現状を維持したいので、在学生に対しては現在の大学院に進学できる旨を充分
に説明するようにとの発言があった。

理学系研究科委員から、「平成 22 年度入学生の博士後期課程修了まで大学院は存続する
こと」を確認したいとの発言があり、了承された。また、改革に当たっては学生や府民に
不利益を及ぼすことのないように考慮すること、改革後の大学運営に支障をきたさないよ
う、経営収支の予測等も充分に行った上で、学生定員や教職員定数は慎重に検討すること
などの意見が出された。さらに、経済学部委員からは、改革案に対しては、去る 26 日出
した緊急声明の通り学部としては同意できるものでない旨の発言があり、理学系研究科委
員からは、検討の時間が短く議論が尽くされていないとの発言もあった。これらの意見を
斟酌した上で、理事長の判断として改革（案）を大阪府に提出することが了承された。

最後に、今後の改革推進体制を早急に示すようにとの発言があった。

[報告事項]

1 「府立大学のあり方」（戦略本部会議 討議用資料）についての見解

「『府立大学のあり方』（戦略本部会議 討議用資料）についての見解」については、本年度 9 月に行われた戦略本部会議討議用資料に対して、本学教員から寄せられた意見を、部局長および学長がとりまとめたものである旨の説明があり、大阪府の戦略本部会議に提出する予定であることが報告された。